

【事業の経緯】

別添資料1

水対-1 大村湾南部流域下水道事業の経緯

審議経過	再評価 の理由	工 期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
第1回審議 (H14)	事業採択後 10年経過	H5	H22	230.0	—	計画区域 1,771ha 計画人口 72,000人 計画汚水量(日最大) 49,900m3/日
第2回審議 (H24)	再評価後 10年経過	H5	H42	203.5	1.07	計画区域 1,644ha 計画人口 43,000人 計画汚水量(日最大) 32,300m3/日
第3回審議 (H28:今回)	社会経済情勢 等の変化	H5	H42	216.1	3.79	計画区域 1,644ha 計画人口 41,700人 計画汚水量(日最大) 28,100m3/日

社会経済情勢等の変化があった事業に係る評価手法選定表

別添-1

事業主体	長崎県	事業種別	流域下水道	処理区	大村湾南部処理区	
事業費	当初全体計画	203.5億円	現行全体計画	216.1億円	現行事業計画	208.8億円
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画	現行全体計画	現行事業計画	整備状況	
	処理区域面積	1,644ha	1,644ha	1,502ha	1,073ha	
	処理人口	43,000人	41,700人	44,700人	36,340人	
	流入水量	32,300m ³ /日	28,100m ³ /日	29,400m ³ /日	18,193m ³ /日	
	幹線管渠延長	5,300m	5,300m	5,300m	5,300m	
	ポンプ能力	14.0m ³ /分×2台 4.0m ³ /分×1台	14.0m ³ /分×2台 4.0m ³ /分×1台	14.0m ³ /分×2台 4.0m ³ /分×1台	14.0m ³ /分×2台	
	処理場処理能力	32,300m ³ /日	28,100m ³ /日	29,400m ³ /日	26,917m ³ /日	
	汚泥処理能力	15m ³ /日	13m ³ /日	13m ³ /日	8m ³ /日	
評価手法の判定項目						
項目	評価					
関連計画及び関連事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> 流域関連公共下水道整備率（H26末：諫早市63.3%、大村市90.6%） その他計画の変更要因となる関連計画及び事業はない。 					
事業の進捗状況	<p>■ H27末現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備率 1,073ha/1,644ha=65.3%（※H26末） 事業費 188.4億円/216.1億円=87.2% 水処理施設の状況 5系列/6系列=83.3% 管渠の整備状況 5,300m/5,300m=100% 					
地元情勢	<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業内の住民・地権者の反対は無く、未整備区域においても下水道の早期整備の要望が強い。 					
技術革新	<ul style="list-style-type: none"> 高度処理の導入にあたり適用可能な新技術は、コスト比較で不利となったため不採用とした。 					
総合評価						
総合評価は上記のとおりであり、再評価チェックリストにより事業再評価を行う。						

平成28年度
長崎県公共事業評価監視委員会

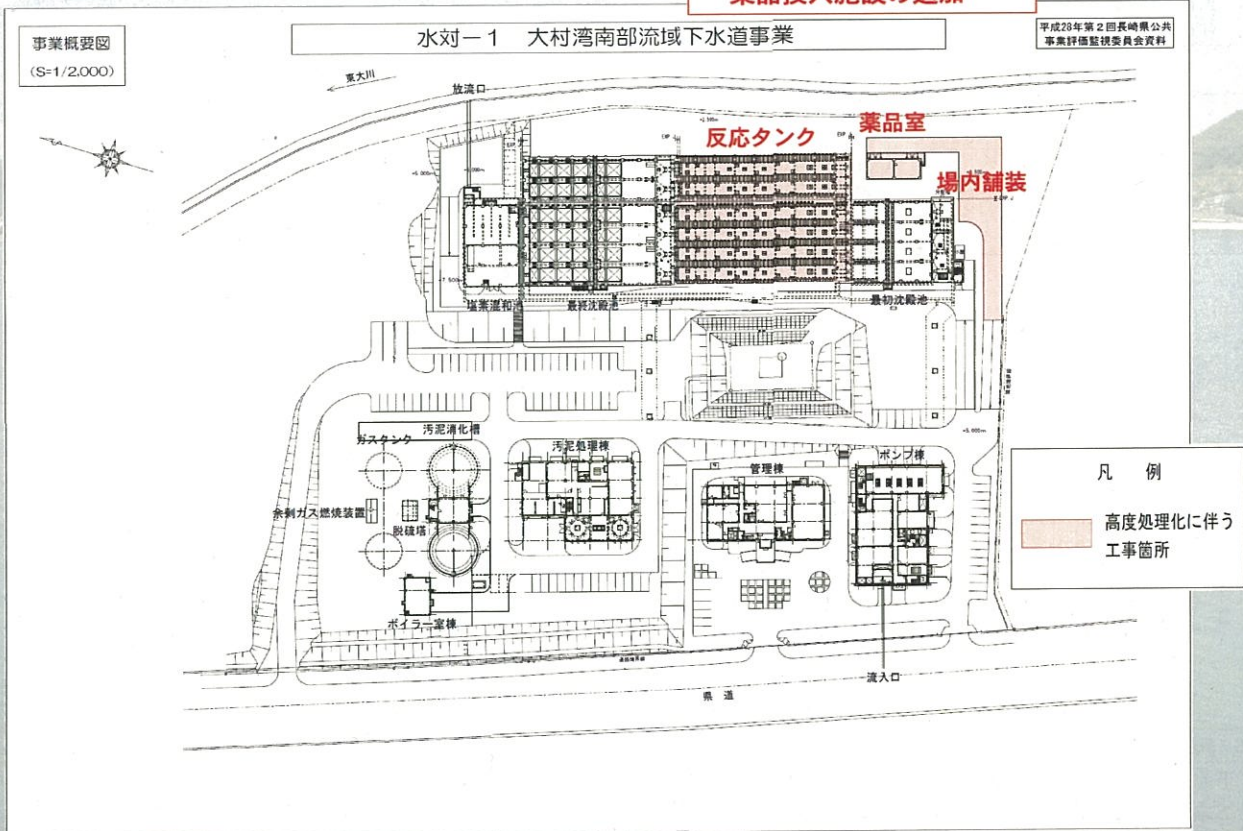
詳細審議
再評価対象事業

水対-1 大村湾南部流域下水道事業
(大村湾南部浄化センター)

長崎県

1

事業概要図

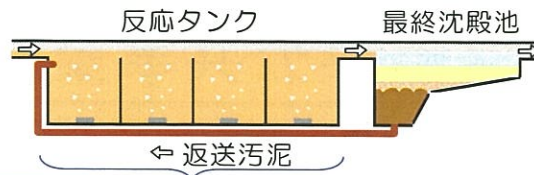


2

詳細説明 (1)

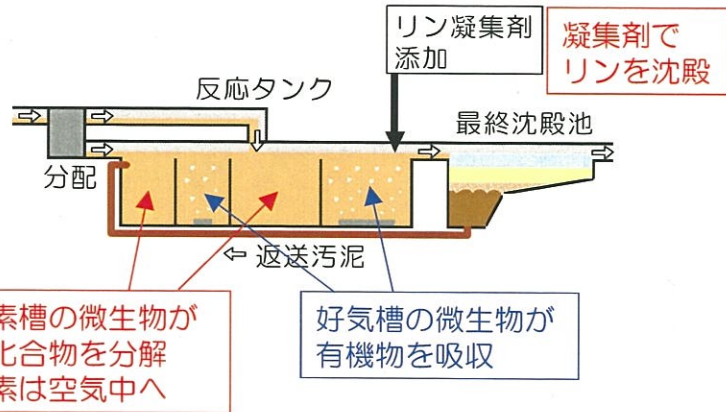
【標準法と高度処理の処理工程の違い】

従前：通常の下水处理
(標準活性汚泥法)



好気槽（空気を送る槽）の微生物が有機物を吸収

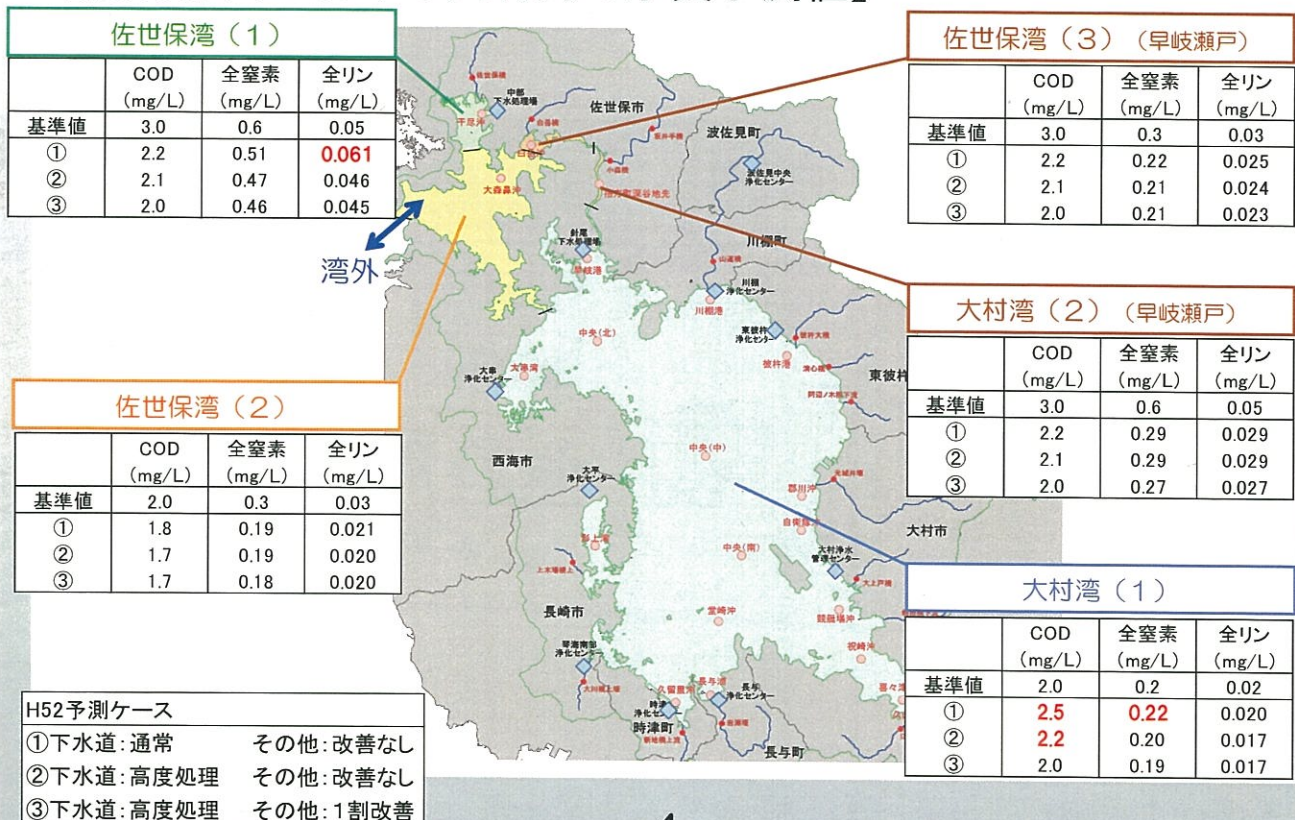
変更：高度処理
(ステップ流入式
多段硝化脱窒法)



3

詳細説明 (4)

【流総計画における大村湾の水質予測値】



4

今後の予定

【完了工期】 H42年度完了予定

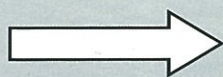
〔今後の事業見通し〕

H28：高度処理詳細設計

H29～H40：高度処理化工事（6系列×各2年）

H42：流域下水道事業 完了予定

対応方針
(原案)



見直し継続